

## 第11章 経過観察

### 第1節 方向性

史跡甲府城跡を確実に保存し、有効に活用するためには、将来にわたり持続的・継続的に維持管理に取り組むとともに、計画的に公開・活用や整備を行っていく必要がある。

このため、史跡の保存活用計画を策定後は、第5章から第9章までに述べた保存・管理、活用、整備、運営・体制の整備、調査研究等の各分野について定期的・日常的に経過観察（モニタリング）することが必要である。具体的には、施策や事業の進捗状況を個別的及び全体的に把握するための指標を定め、定期的に自己点検を実施することにより、的確な改善方法を抽出し、史跡の保存・活用に係る施策等の効果的な推進を図る。

この経過観察は、文化財保護を担当する観光文化部文化振興・文化財課が中心となって施策・事業の経過観察を全体的に取りまとめ、教育や観光、まちづくりなどの関係部局とも連携し、その成果・結果を活用していく。

### 第2節 方法

#### （1）内部検証

内部検証は、年に1回、甲府城跡の保存・活用に関する内部部署（文化振興・文化財課、都市計画課）が次表に示す自己点検表により、各々実施し、文化振興・文化財課が取りまとめることとする。

#### （2）評価

経過観察の結果の評価は、実施する事業の妥当性と効果、保存・活用の基本方針等への寄与などの観点から、文化振興・文化財課や関係部署で実施するとともに、史跡甲府城跡整備検討専門委員や行政オブザーバー等に報告し、専門家の立場からの評価や今後の対策などについて指導・助言を仰ぐこととする。

#### （3）経過観察後の問題の解決

経過観察により把握された課題を踏まえ、当初の目的が達成できるよう個別の施策や事業計画、運営の体制等について見直しを行う。また、本計画についても、施策、事業の進捗や新たに把握された課題を踏まえ、必要と判断された場合は見直しを行うこととする。

経過観察チェックシート表 (案)

史跡等の名称					
管理団体、所有者名					
項目	実施例	取組状況			
		未取組	計画中である	取組済	備考 (現状、目的、成果等を記入)
(1) 基本情報に関すること	ア) 標識は適正に設置されているか	1	2	3	
	イ) 境界標の設置、現地での範囲の把握はできているか	1	2	3	
	ウ) 説明板は設置されているか	1	2	3	
(2) 計画策定等に関すること	ア) 保存活用計画は策定されているか	1	2	3	
	イ) 保存活用計画に基づいて実施されているか	1	2	3	
	ウ) 保存活用計画書の見直しは実施されているか	1	2	3	
(3) 保存に関すること	ア) 指定、選定時における本質的価値について十分把握できているか	1	2	3	
	イ) 調査等により史跡等の価値等の再確認はできているか	1	2	3	
	ウ) 専門技術者の参加、連携は図られているか	1	2	3	
	エ) 史跡等の劣化状況や保存環境に係る調査はされているか	1	2	3	
	オ) 災害対策は十分されているか	1	2	3	
	カ) 保存活用計画に基づいて実施されているか	1	2	3	
(4) 管理に関すること	ア) 日常的な管理はされているか	1	2	3	
	イ) 特別な技術等が必要な部分の管理はされているか	1	2	3	
	ウ) 史跡等周辺の環境保全のために、地域住民や関係機関との連携が図られているか	1	2	3	
	エ) 条例、規則、指針等、環境保全の措置を定め、実行しているか	1	2	3	
	オ) 保存活用計画に基づいて実施されているか	1	2	3	
(5) 公開、活用に関すること	ア) 公開が適切に行われているか	1	2	3	
	イ) 史跡等の本質的価値を学び理解する場となっているか	1	2	3	
	ウ) 市民の文化的活動の場となっているか	1	2	3	
	エ) まちづくりと地域のアイデンティティの創出がされているか	1	2	3	

項目	実施例	取組状況			
		未取組	計画中である	取組済	備考 (現状、目的、成果等を記入)
(5) 公開、活用に関すること	オ) 文化的観光資源としての活用がされているか	1	2	3	
	カ) 体験学習等は計画的に実施しているか	1	2	3	
	キ) パンフレット等は活用されているか	1	2	3	
	ク) 外国人向けの対応はなされているのか	1	2	3	
	ケ) ガイダンス等の施設は十分に活用されているか	1	2	3	
(6) 整備に関すること	ア) 整備基本計画は策定されているか	1	2	3	
	イ) 史跡等の表現は、学術的根拠に基づいているか	1	2	3	
	ウ) 遺構等に影響がないように整備されているか	1	2	3	
	エ) 修復において、伝統技術を十分尊重して実行できたか	1	2	3	
	オ) 整備後に、修復の状況を管理しているか	1	2	3	
	カ) 復元展示において、当時の技法、意匠、工法、材料について十分検討したか	1	2	3	
	キ) 活用を意識した整備が行われているか	1	2	3	
	ク) 多言語に対応した整備が行われているのか	1	2	3	
	ケ) 整備において目指すべき環境等の姿を実施できたか	1	2	3	
	コ) 整備基本計画に基づいて実施されているか	1	2	3	
サ) 整備基本計画の見直しはされているか	1	2	3		
(7) 運営・体制・連携に関すること	ア) 運営については適切に行われているか	1	2	3	
	イ) 体制については十分であるか	1	2	3	
	ウ) 他部署との連携については十分であるか	1	2	3	
	エ) 地域との連携については十分であるか	1	2	3	
(8) 予算に関すること	ア) 予算確保のための取組はあるか	1	2	3	